



にほんご教室日記 第108回

教室スタッフのボランティアさんが普段、考えていることや受講生の様子などをお知らせしています。

●教室再開二か月、コロナの収束を願って

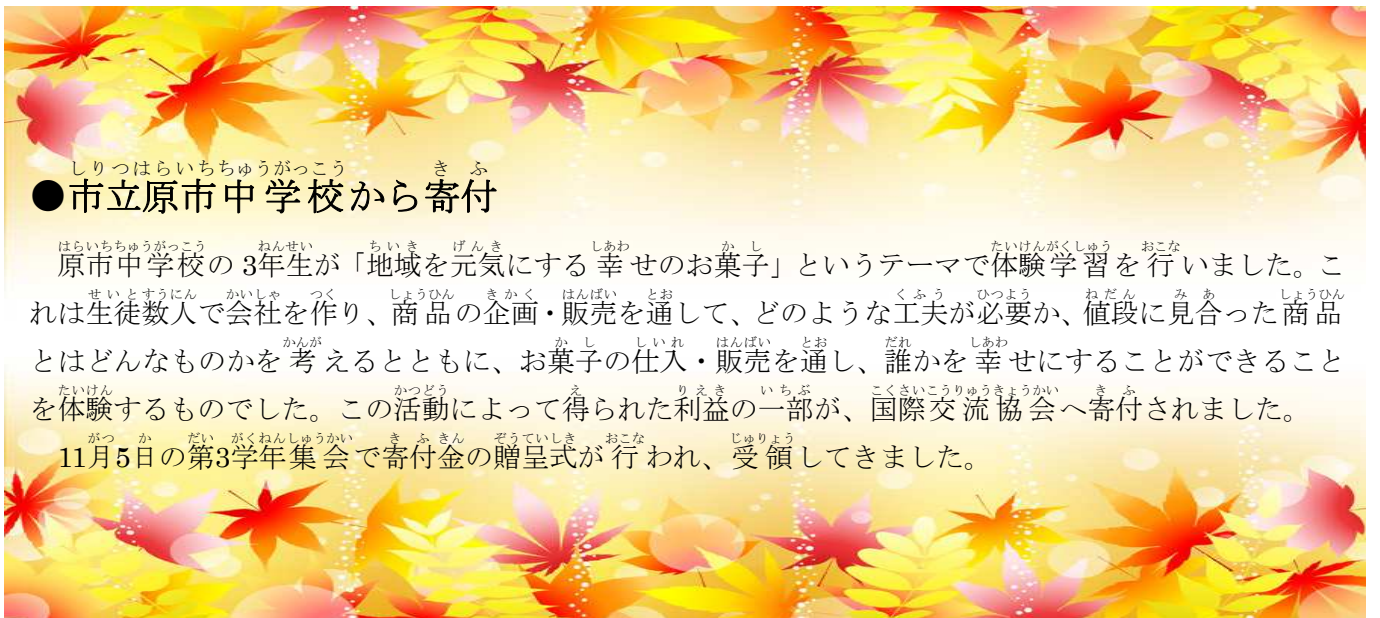
日本語教室が再開されて、早くも2ヶ月が経ちました。10月からの再開を決めたときに、果たして何人のボランティア、受講生が集まるか心配でした。また、新型コロナウイルス感染予防のために何をしなければならぬかも手探り状態でした。検温計やフェイスシールドなど必要なものも購入しました。10月になり教室の再開初日は、予想通りボランティアの人数も受講生も少なく、ちょっと寂しいけれど、予防体制は取りやすいと感じました。その後、受講生も少しずつ増加してきました。また毎回のようになり新規ボランティア希望の方も教室を訪れています。新規受講希望者については、感染予防のため、原則としてボランティアの数を上回る受講生の受け入れはしないと理事会で決められています。そのため、事務局経由でボランティアと受講生のバランスを確認した上で、受講できるかどうかを本人に伝えています。新規ボランティアのおかげで、いまのところ待機しなければならない受講希望者が出ていません。

新型コロナウイルスの発生から、約1年が経過しようとしています。日本では経済活動との両立をにらみながら、感染者数の増加にかかわらず、規制が入国制限なども含め緩和されつつあります。コロナ禍以前まで、外国人の入国は増え続けていました。コロナによってこの流れはストップしていましたが、規制の緩和で、再び増加すると考えられます。そうすると日本語教室の受講希望者も増加するでしょう。ボランティアの増加以上に受講希望者が増えると、待機者が増加します。今一番心配しているのは、待機者増により教室への入会を断り続けなければならない、すなわち受講を断りつづけなければならないことです。日本に来て、何とかして日本語を上達させたいと考えている人に、受講できませんよと伝えることはとてもつらく悲しいことです。新型コロナが一日も早く収束し、ボランティア活動が安心してできるようになることを心から願っています。

●市立原市中学校から寄付

原市中学校の3年生が「地域を元気にする 幸せのお菓子」というテーマで体験学習を行いました。これは生徒数人で会社を作り、商品の企画・販売を通して、どのような工夫が必要か、値段に見合った商品とはどんなものかを考えるとともに、お菓子の仕入・販売を通し、誰かを幸せにすることができることを体験するものでした。この活動によって得られた利益の一部が、国際交流協会へ寄付されました。

11月5日の第3学年集会で寄付金の贈呈式が行われ、受領してきました。



# AGA Calender

2020年12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		○にほんご教室 10:00～11:30 上尾市文化センター 2F	○にほんご教室 19:00～20:30 上尾市文化センター 501			
6	7	8	9	10	11	12
		○にほんご教室 10:00～11:30 上尾市文化センター 2F	○にほんご教室 19:00～20:30 上尾市文化センター 501	●理事会 18:30～ ●ワールドフェア 実行委員会 19:00～ 上尾市役所 7F 大会議室		☆外国人子ども 教室 10:00～12:00 上尾市文化セン ター302
13	14	15	16	17	18	19
						☆外国人子ども 教室 10:00～12:00 上尾市文化セン ター501
20	21	22	23	24	25	26
						☆外国人子ども 教室 10:00～12:00 上尾市文化セン ター302
27	28	29	30	31		

## AGA Letter 第128号 2020年12月1日発行

発行責任者：関本 正弘

編集：AGA事務局

発行：上尾市国際交流協会

〒362-8501 上尾市本町 3-1-1 上尾市役所別館 1 F

TEL: 780-2468 (直通) / Fax: 775-0007

E-Mail: office@aga-world.com

じむきよく しやくしよだいい べっかん  
 ※AGA事務局は、市役所第3別館  
 かい しやくしよほんちようしやむ がわ  
 1階（市役所本庁舎向かい側のビル）  
 しゅっきん げつ もく きん  
 スタッフの出勤は、月・木・金の10:00  
 ～16:00です。  
 ※AGA事務局が不在のときは、上尾市役所市  
 民協働推進課（Tel.: 048-775-4597）へ。